

多面的機能支払交付金

自己評価チェックシート

はじめに

この交付金では、地域資源（例えば、皆さんで共同管理している水路や農道など）を保全管理するための共同活動に対して支援を行うことで、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるとともに、構造改革（担い手農業者への農地集積等）の後押しをすることを目的にしています。

この「自己評価チェックシート」は、活動組織のこれまでの活動を定期的に振り返り、活動の実施状況や成果、活動による地域の変化等を点検することにより、活動の効果的・効率的な実施に活用することを目的としています。

主に振り返るのは、活動計画書に定めた次の活動です。

- I. 地域資源の適切な保全管理のための推進活動
- II. 多面的機能の増進を図る活動（※）

設問の順に沿って、これまでの活動を振り返りましょう。

都道府県名							
市町村名							
活動組織名							
活動期間	平成		年	～	平成		年

今回の自己評価が、活動何年目の評価になるか、以下のうち、該当する方にチェックを入れてください。

活動開始2年目

活動開始4年目

（※）「II. 多面的機能の増進を図る活動」は、取組を行っている活動組織のみが対象です。取り組んでいる場合は、左の口にチェックを入れてください。

I

「地域資源の適切な保安全管理のための推進活動」（以下、「**推進活動**」という。）について、これまでの活動を振り返りましょう。

おさらい ～「**推進活動**」って何のためにするの？～

この交付金では、地域での話し合いにより、農村の構造変化に対応した地域資源の保安全管理の目標（以下、「**保安全管理の目標**」という。）を定め、目標に即した**推進活動**を実施しながら、将来にわたる地域資源の保安全管理に関する構想を活動期間中に策定するのが約束です。



問1

あなたの組織の「**保安全管理の目標**」を確認しましょう。次の中から、活動計画書に定めているものにチェックを入れてください。（該当する目標を全て選択）

- 中心経営体型**
地域内の中心経営体の育成・確保、農地集積を図り、中心経営体との役割分担や労力補完により保安全管理を図る。
- 集落ぐるみ型**
集落営農組織の構築・充実等を図り、集落を基礎とした農業生産体制の整備と合わせた地域ぐるみの保安全管理を図る。
- 地域外経営体連携型**
地域外の農業生産法人や認定農業者等への農地集積を図り、地域外の経営体との協力・役割分担により保安全管理を図る。
- 集落間・広域連携型**
広域的な農地利用の調整、近隣集落との連携、旧村や水系単位等での連携を図り、集落間の相互の労力補完や広域的な活動により保安全管理を図る。
- 多様な参画・連携型**
地域住民の参画、地域外の団体や都市住民等との連携を図り、地域外を含め多様な地域資源管理の担い手の確保により保安全管理を図る。
- その他** （具体的な内容を以下の欄に記入してください。）

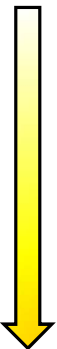
問2

あなたの組織の「**推進活動**」を確認しましょう。次の中から、活動計画書に定めているものにチェックを入れてください。（該当する活動を全て選択）

- 農業者（入り作農家、土地持ち非農家を含む）による検討会
- 農業者に対する意向調査、農業者による現地調査
- 不在村地主との連絡体制の整備、調整、それに必要な調査
- 地域住民等（集落外の住民・組織等も含む）との意見交換・ワークショップ・交流会
- 地域住民等に対する意向調査、地域住民等との集落内調査
- 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会
- その他 （具体的な内容を以下の欄に記入してください。）

問3

あなたの組織の「**保全管理の目標**」に向けて、「**推進活動**」はどのステップまで進んでいますか。次の中から、当てはまるステップの中で最も高いステップにチェックを入れてください。(1つを選択)

- 
- ステップ0** : 話し合いの場を持つための体制を整えている段階である。
 - ステップ1** : 地域の現状や目標を関係者の間で共有できた。
 - ステップ2** : 目標に向けてどのような課題があるか整理できた。
 - ステップ3** : 課題解決や保全管理の方法(体制や役割分担等)を検討した。
 - ステップ4** : 保全管理の体制強化の方針が決まった。
 - ステップ5** : 地域資源保全管理構想を作成し、構想に沿って実践を始めている。

次のステップに進むために、市町村等にアドバイスしてほしいことがあれば、以下の欄に記入してください。

問4

「**推進活動**」によって、効果が現れている、又は、現れる見込みのあるものにチェックを入れてください。(複数選択可)

(意識の変化)

- 地域農業の将来を考える農業者の増加
- 農村の将来を考える地域住民の増加

(体制の強化)

- 不在村地主との連絡体制の確保
- 地域内外の担い手農業者との連携体制の構築
- 隣接集落など他の集落との連携体制の構築
- 水路・農道等の地域資源を保全管理する人材の確保

(担い手農業者の負担軽減等)

- 担い手農業者や法人等の負担軽減
- 水路・農道等の地域資源の機能維持

(その他)

- 他の地域活動の活発化
- 上記以外の効果 (具体的な内容を以下の欄に記入してください。)

「**多面的機能の増進を図る活動**」を行っている組織は、次のページも回答してください。
行っていない組織は、「最後に」のページを回答してください。

Ⅱ 「多面的機能の増進を図る活動」（以下、「増進活動」という。）について、これまでの活動を振り返りましょう。

おさらい ～「増進活動」って何のためにするの？～
増進活動は、地域の創意工夫に基づいて地域ぐるみの取組の質を高め、活動を促進・発展することによって、農業・農村の持つ多面的機能の増進を図るためのものです。

問1 あなたの組織の「増進活動」を確認しましょう。次の中から、活動計画書に定めているものにチェックを入れてください。（該当する活動を全て選択）

- 遊休農地の有効活用
- 農地周りの共同活動の強化
- 地域住民による直営施工
- 防災・減災力の強化
- 農村環境保全活動の幅広い展開（農村環境保全活動を1テーマ追加）
- // // （高度な保全活動）
- 医療・福祉との連携
- 農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化
- その他（都道府県知事が定める要綱基本方針に基づく取組）

問2 あなたの組織が取り組んだ「増進活動」の具体的な内容を、以下の欄に簡単に記載してください。

（例） 「農地周りの共同活動の強化」の活動として、〇〇による鳥獣被害を防止するために△△を設置したり、やぶの伐採を行っている。

問3

「増進活動」によって、効果が現れている、又は、現れる見込みのあるもの全てにチェックを入れてください。(複数選択可)

(意識の変化)

- 地域住民の農村環境（景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等）の保全への関心の向上
- 連絡網の整備や避難訓練など、地域住民の防災・減災に対する意識の向上
- 地域住民で整備・補修した施設を大事に使用するという意識の向上
- 地域コミュニティの維持・発展に対する意識の向上
- 増進活動への参加者の増加、又は確保

(農業の持続)

- 周辺農業者の営農意欲の維持、又は向上
- 地域内外からの農業者の確保や地域住民による活用などの遊休農地の有効活用

(農村環境等の変化)

- 農村環境（景観や水質、生態系、水源かん養、資源循環等）の向上
- 鳥獣被害の防止などの農地利用や地域環境の改善
- 自然災害や二次災害による被害の抑制・防止
- 伝統農法・文化の復活や継承を通じた農村コミュニティの強化
- 高齢者や障害者等の活躍の場の提供
- 地域住民の水路や農道等の知識や補修技術の向上

(その他)

- 上記以外の効果（具体的な内容を以下の欄に記入してください。）

「最後に」のページを回答してください。

最後
に

「推進活動」や「増進活動」に関わらず、あなたの組織でこれまで多面的機能支払の活動として取り組んだ全ての活動を振り返りましょう。

共同活動による水路や農道などの保全管理等は、農業を支えるだけでなく、地域の景観や自然環境を保全、災害時の被害の防止・軽減や地域コミュニティの形成に役立つなど、農業者を含む地域住民全体に様々な形で役立っています（このことを「農業・農村の多面的機能」と呼んでいます）。

農業・農村の多面的機能が維持・発揮されるためには、このことが多くの国民に理解され、共同活動への多様な人材の参加を促すことが重要です。

このため、あなたの組織が取り組んでいる活動内容やそれによる効果、活動への思いを書いてください。

(例)

棚田の保全管理の作業軽減のために、地域で農地法面のカバープランツに芝桜を植栽する活動を実施している。その結果、芝桜が満開の時には観光客が訪れるようになり、地域の活性化につながっている。今後も地域が盛り上がるようにこの活動を継続していきたい。

自己評価は以上です。回答お疲れさまでした。